

避難行動を促すやさしい情報に関する研究—小学校でのアンケート調査

A study on the plain information to encourage refuge action—a questionnaire survey in elementary schools

北海道大学工学部環境社会工学科 ○学生員 及川 あかり (Akari Oikawa)
 北海道大学大学院工学研究院 正 員 田中 岳 (Gaku Tanaka)

1. はじめに

高齢者施設での甚大な被害が報告された平成 28 年 8 月東北・北海道豪雨災害の後、災害時要援護者の避難行動を支援することを踏まえて避難に関わる用語の名称変更とそのガイドラインの改定が成された^{1,2)}。その中では、情報を受け取る側に立って提供するとして、対象地域、とるべき行動をわかりやすい言葉でくり返し伝えると述べられている。その一方で住民の側からは、以前より情報の分かり難さが指摘されている³⁾。

情報提供を受ける側の観点から、提供内容の「やさしい日本語」化は広く認知されてきている。庵らの研究グループ⁴⁻⁶⁾は、多様な非日本語母語話者と日本語母語話者が共生する社会での情報伝達や相互理解においては「やさしい日本語」が最適な言語であると指摘している。このような立場で、弘前大学人文学部社会言語学研究室(佐藤ら)⁷⁾では災害時に発せられる情報の「やさしい日本語」化を実践している。

本研究の主たる目的は、外国人を対象とした防災情報の「やさしい日本語」化⁷⁾を踏まえながら、小学校児童も含めた日本語母語話者にとってもわかりやすい災害時の情報提供の在り方を明らかにすることである。そこで本報告では、小学校で実施した教職員と児童にとってわかりやすい災害時の用語についてアンケート調査した前報⁸⁾にその後の検討結果を加え、その情報提供の在り方について考察する。

2. アンケート調査⁹⁾

2011 年東北地方太平洋沖地震津波を受けて防災対策の充実が求められるなか、北海道⁹⁾は日本海沿岸域の津波浸水想定を公表した。本報告では、この公表地域の中から札幌市を除いた石狩振興局以北の 15 市町村の小学校全 52 校に対して、教職員の立場での教職員と児童にとってわかりやすい災害時の用語についてのアンケート調査を実施した。表-1 に、アンケート項目(要約)をまとめる。本調査では調査票を郵送にて配布し、回答後の返送を依頼した。その結果、29 校から回答が寄せられた。回答率は 55.8%である。なお、回答は一人の教諭が担当しているため、アンケート項目によっては回答者個人の見解が述べられている場合もある。

3. 結果と考察

前報⁸⁾でも述べられているが、避難に関する用語の違い(項目①)がわからないとした回答はなく、よくわかる、理解が十分ではないがそれぞれ 14 名、無回答 1 名であった(図-1)。また、全体の 73%にあたる 21 名が避難勧告等の発令がその後の行動に役立つと回答した(項目②)。しかし一方で、用語の違いを児童に教えている学校は全体の 17%であった(項目③)。さらに、約 8 割の回答者が、児童が用語の意味を理解し、その後の行動を自らとることは難しいと感じている(項目④)。小学校児童にも伝わる情報提供が非日本語話者にとって

表-1 アンケート内容(要約)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ① 「避難準備情報」、「避難勧告」と「避難指示」の違い | |
| 1. よくわかる | 2. 十分ではない 3. わからない |
| ② 「避難準備情報」、「避難勧告」と「避難指示」といったそれぞれの言葉が、その後の決断、行動を支援 | |
| 1. 支援する | 2. どちらかといえば支援する 3. どちらともいえない |
| 4. とちからといえば混乱させる | 5. 混乱させる 6. わからない 7. その他 |
| ③ 学校教育の中で、「避難準備情報」、「避難勧告」と「避難指示」の違いを児童に教えている | |
| 1. 教えている | 2. 教えていない 3. これから教える 4. わからない |
| ④ 用語の違いや、その後にすることが望ましい行動を児童自らが判断 | |
| 1. 易しいと感じる | 2. どちらかといえば易しい 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば難しい | 5. 難しいと感じる 6. わからない 7. その他 |
| ⑤ 避難に関する情報が発令された場合、その直後に児童に伝えるその後の行動 | |
| (1) 「避難準備情報」が発令された直後 | |
| 1. 避難準備 | 2. その場に待機 3. 避難(決められた所) 4. 状況に応じた対応 |
| 5. わからない | 6. その他 |
| (2) 「避難勧告」が発令された直後 | |
| 1. 避難準備 | 2. その場に待機 3. 避難(決められた所) 4. 状況に応じた対応 |
| 5. わからない | 6. その他 |
| (3) 「避難指示」が発令された直後 | |
| 1. 避難準備 | 2. その場に待機 3. 避難(決められた所) 4. 状況に応じた対応 |
| 5. わからない | 6. その他 |
| (4) 学校運営のなかで、上記の行動は事前に決められている | |
| 1. 決まっている | 2. これから決める 3. 決まっていない |
| ⑥ 用語を児童自らが理解して活用することや、また安全な学校運営にそれらを用いることについて(自由回答) | |

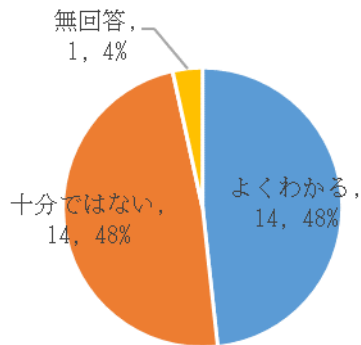


図-1 避難に関する用語の違いがわかる

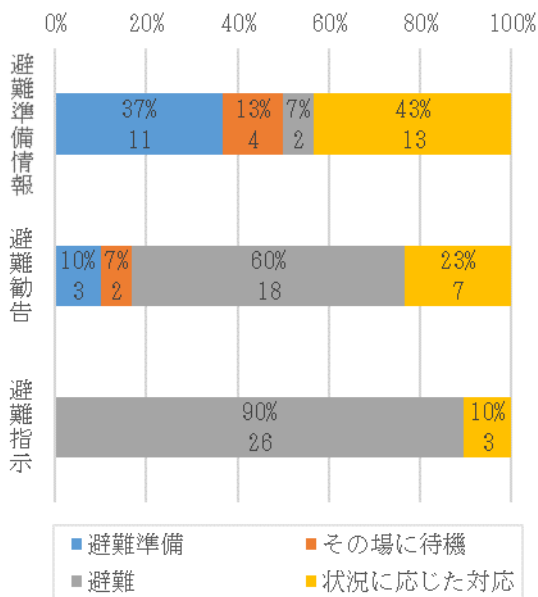


図-2 避難に関する用語が発令された場合、児童に伝える行動（項目⑤）

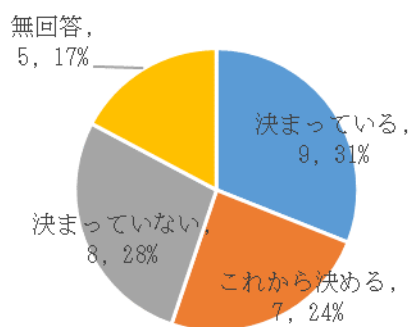


図-3 学校運営のなかで、発令時の行動は事前に決められている（項目⑤）

必要となることを踏まえると、現行の避難に関する用語の理解とその後の行動判断は難しいものと考えられる。

また、避難に関する情報が発令された際に、児童に伝える行動について尋ねた項目⑤では、特に「避難勧告」発令時に児童に伝える行動が多様化する傾向が見られる（図-2）。さらに、避難勧告等発令時の行動が学校運営の中で決められていたのは、全体の約3割の学校にとど

まっている（図-3）。このことは、災害時に適切な行動を児童に促すためにも検討すべき課題といえる。

4. おわりに

避難勧告等の用語の意味が十分に理解されると、適切な行動がとれるものと考えられるが、そのための防災教育の充実は不可欠である。その一方で、それらを理解することが難しい非日本語母語話者や小学校児童には、避難に関する情報のわかりやすさが求められている。このような情報弱者の存在を踏まえて、「やさしい日本語」を用いた災害時にも誰もが理解できる情報提供が必要であると考えられる。

今後は小学校児童や留学生に対して、アンケート調査の実施を考えている。従来の避難に関する用語と「やさしい日本語」を用いた言葉を比較して、適切な避難行動や災害時の状況を理解しやすい表現について検討し、その結果を防災教育に反映させる予定である。

謝辞: 本研究を実施するにあたっては、平成28年北海道豪雨災害調査団から貴重な情報をご提供頂いた。また、アンケート調査にご協力頂いた小学校の関係各位に対して、この場を借りて感謝の意を表する。

参考文献

- 1) 内閣府：「避難準備情報」の名称変更について、<http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/hinanjumbijoho/index.html>, (2017.11.29 参照)。
- 2) 内閣府：避難勧告等に関するガイドラインの改定（平成28年度）、http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h28_hinankankoku_guideline/index.html, (2017.11.29 参照)。
- 3) 田中岳，渡部靖憲，中津川誠：2011年東北地方太平洋沖地震の津波による北海道沿岸域住民の避難行動調査，土木学会論文集B2（海岸），Vol. 69, No. 1, pp. 48-63, 2013。
- 4) 庵功雄，岩田一成，森篤嗣：「やさしい日本語」を用いた公文書の書き換え—多文化共生と日本語教育文法の接点を求めて，人文・自然研究，5号，pp. 115-139, 2011。
- 5) 庵功雄：「やさしい日本語」研究の「これまで」と「これから」，ことばと文字，4巻，pp. 4-13, 2015。
- 6) 庵功雄：やさしい日本語—多文化共生社会へ，岩波新書（新赤版）1617，岩波書店，2016。
- 7) 弘前大学人文学部社会言語学研究室：災害が起こったときに外国人を助けるためのマニュアル（弘前版），<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/newmanual/top.html>, (2017.11.29 参照)。
- 8) 田中岳，及川あかり：小学校児童の避難行動を促すやさしい情報に関する研究，土木学会第72回年次学術講演会(CD-ROM), CS1-009, 2017。
- 9) 北海道建設部維持管理防災課：北海道日本海沿岸の津波浸水想定公表について，http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/sbs/nihonkai_tsunami-nnsuisoutei.htm, (2017.11.29 参照)。